

## 滅菌物のトラッキングシステムを用いた品質保証

川口 弘之 サクラ精機（株） 営業本部付部長

イギリスで B S E の問題が発生以来ヨーロッパ各地では医療用鋼製小物にも洗浄～滅菌～患者処置までの連結記録が求められる様になりました。

これは、院内再生物品への品質保証を求めその原因を明確にすることにより、感染の拡大等を最小限もしくは、未然に防ぐことが目的といわれております。

我が国においても院内再生物品は中央滅菌室を中心に鋼製器械（小物）類が滅菌物と称して各種の治療用に患者に直接使用されております。

しかしながら、その処理工程におけるエビデンス管理やプロセス管理が厳格に行われているとは云えません。

どちらかと云うと各装置の能力、インジケータによるところが大でその品質維持を図っているのが現状ではないでしょうか。

今般サクラ精機（株）では、大阪大学医学部附属病院手術部部長 中田精三先生及びメディカルネクスト様のご協力の基、手術用鋼製小物への 2 次元バーコード刻印とその読取システムと徳島大学他にてご採用いただいておりますサクラマネージメントシステムとの連携を図り、滅菌物のトレーサビリティと品質保証について発表させていただきます。